



COVER STORY

マスダ・ストリートダンススタジオ「Bean' z」

2012年に結成されたストリートダンスサークル「Bean' z」を母体として2013年11月1日にオープン。ダンススクールの他、スタジオの貸出、イベント出演なども手がけている。子供たちがダンスを披露する場を増やすことに力を注ぎ、これまでに増田りんご祭り、七日町祭り、ふるさと村での各種イベントなどで発表会を開催した。2014年8月の横手音フェスティバル、同年10月のダンスフェスティバルin横手(国民文化祭)に参加予定。



「豆」から大木へ 地域の子どもに 夢を育む場を提供する

人を喜ばせるためのダンス

友人に触発されて、19歳からストリートダンスを始めたというオーナーの高橋恵美さん。当時はダンススタジオが近隣になく、公共施設を借りて個人練習を重ねながら定期的に仙台・大阪・名古屋でレッスンを受けていました。その時に知り合った女性ダンサー3人でグループを結成。ショーに出演するなど精力的に活動を広げていました。踊ることが好きだった恵美さんは、どちらかという順位をつけるコンテストよりも、見ているお客様との一体感が得られるショーに重きを置いていまし

た。お客様の反応によってダンス内容を変えたりといったステージメイキングが何より楽しかったと振り返ります。

地域でも充実した設備と指導を提供

出産をきっかけにダンスの一線から退き青森で暮らしていた恵美さんは、子育てが一段落して帰郷。ふと地元を顧みるとき、ストリートダンスのインストラクターや設備の整ったスタジオが少ないことをさびしく感じたといいます。自分もまた踊りたい、子供たちとダンスを楽しみたいという思いを抱いて2012年、

増田町でストリートダンスサークルを立ち上げました。自分自身、環境に恵まれず苦労した経験があった恵美さんは、サークルで生徒と触れあっている内に「子どもたちにはしっかりとした環境の中でダンスに向き合ってもらいたい」という思いを抱くようになり、2013年11月に「マスダ・ストリートダンススタジオ Bean' z」をオープン。内装や看板のグラフィティは2ヶ月かけて作りました。Bean' zの意味は「豆=種=子供たち」。未知なる

可能性を持つ子供たちに目標をもってもらい、しっかりと根を張った大きな木に育ってもらいたいという思いに由来します。現在、スクールには横手市・湯沢市・大仙市から15名の生徒が通っていて、そのほとんどがインストラクターやプロのダンサーを目指しています。「夢に向かって頑張る子供たちを見ると、力になりたいと心から思います」と恵美さん。子供たちと共に歩む恵美さんにとって、夢はまだ始まったばかりです。

マスダ・ストリートダンススタジオ「Bean' z」

tel.0182-45-4133 横手市増田町増田字本町117
<http://beanz.jp/>